

ほっとNEWS

WAKOKAI

私たちの「広」を誰もが「ほっと」する、そんな「街」に。

2023
vol.65

NEWS 1 「住み慣れた地域や家庭で暮らしたい」
訪問看護ステーション「虹」開設!!

NEWS 2 認知症デイケア受入人数拡大!!



Photo: ふたばハイツII 夏祭り

〈ふたば病院の理念〉

「和」のこころを「恒」に以って、みなさまに安心して信頼される病院を築いてまいります。

〈基本方針〉

1. 私たちは、人権の尊重と倫理の遵守に基づいた医療を提供いたします
2. 私たちは、相手(接する人)の気持ちを思いやり、尊重するように努めます
3. 私たちは、日々研鑽し、医療サービスの向上に努めます
4. 私たちは、医療に携わる人材の育成に努めます
5. 私たちは、地域精神医療の中核的役割を果たし、地域に貢献できるよう努めます
6. 私たちは、持続可能な医療サービスを提供できる体制を構築するよう努めます



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。



2040年までに、主要な疾患を予防・克服し、100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステイナブルな医療・介護システムを実現する。



働き方改革による企業の成長、働きがいのある企業をめざす。

表紙の写真について



Photo: ふたばハイツII 館内夏祭り風景

夏だ！元気だ！お祭りだ！



ふたばハイツII
管理者 齊藤啓子

令和5年8月15日、ふたばハイツIIで夏祭りを行いました。昨年まで自粛していましたが、やっと盛大に行うことができました。まず、盆踊りで始まり、魚釣りや輪投げなど昔ながらの催しに、入居者様は「懐かしい」と話され、沢山の笑顔を見せて下さいました。また、タコ焼きやスイカなどを食べて、存分にお祭り気分を味わっていただきました。入居者様の大切な時間を、多くの笑顔と活気ある時間に変えることができた1日でした。

編集後記

秋風が気持ちよい今日この頃、皆様いかがお過ごしですか。さて、ほっとNews vol.65では、訪問看護ステーション・認知症デイケアについて特集しています。これらの事業所は認知症などが診断された後も、在宅での生活を続けていくための要となるサービスたちです。大切な家族だからこそ、できるだけ一緒に暮らしたい。できるだけ一緒に暮らすからこそ、看護・介護者だけで抱え込まず、信頼できる仲間たちと共に支えたい。その仲間となるべく、私たち和恒会スタッフは日々患者さま・ご家族の思いに寄り添いながらケアを行っています。この特集で、在宅ケアに関する当法人の取組が少しでもご紹介できれば幸いです。(小川)

医療法人社団 和恒会

日本医療機能評価機構認定病院

TEL.0823-70-0555 FAX.0823-70-0557
〒737-0143 広島県呉市広白石4丁目7-22

和恒会 検索 <https://wakokai.jp/>



- ・ふたば病院
- ・介護老人保健施設 パナケイア
- ・高齢者複合福祉施設 ふたばの街
- ・特定施設入居者生活介護 ふたばハイツII
- ・短期入所生活介護事業所 ふたばの里
- ・訪問介護事業所 ふたば
- ・居宅介護支援事業所 ふたば
- ・共同生活援助 ふたばの丘/ふたばの朝
- ・共同生活援助 さくらんぼ
- ・地域活動支援センター ふたば
- ・呉市川尻安浦地域包括支援センター
- ・広島県認知症疾患医療センター
- ・こころのクリニック こかけ
- ・訪問看護ステーション 虹

「住み慣れた地域や家庭で暮らしたい」

訪問看護ステーション「虹」開設!!

認知症高齢者や障害のある方が、長く過ごしてきたご自宅で安心して暮らしていけるよう看護師などが訪問し、状態観察や療養のお世話を行うサービスです。

当ステーションでは訪問看護業務10年以上のスタッフや精神科病院の病棟・外来経験豊富なスタッフが大切な利用者さまのケアにあたります。

高齢者や認知症の方

サービス拒否や、お薬管理の介入を拒否されるなど、ご本人への関わりが難しく困っておられないか?在宅生活維持のためのアセスメント・支援など、利用者さまはもちろん、ご家族の不安の軽減に努めます。



精神疾患がある方

コミュニケーションを大切にしながら、看護師が、状態観察・服薬管理・セルフケアの支援を行います。悪化時は早期に主治医へ報告する等、情報共有を密に行い、利用者さまをサポートします。

訪問看護の内容

- 状態観察 ●服薬管理 ●保清（入浴・清拭・おむつ交換）●食事介助 ●排便管理
- 主治医の指示による医療処置（注射・点滴・褥瘡・創傷処置など）●カテーテル管理 ストーマ管理 ●在宅リハビリ（日常生活動作訓練など）

Enjoy・the 看護



訪問看護ステーション虹
管理者 矢津ひろみ

平成23年、病院内の小さな訪問看護室から始まり12年。地域の認知症患者様も支えたいという気持ちから、今年訪問看護ステーションが誕生しました。訪問看護ステーション虹では「Enjoy・the 看護」をモットーとし、日々利用者様の元を駆け巡っています。また、ふたば病院での経験を基に精神疾患や認知症看護のエキスパートとしての自負を持ち利用者様やご家族の「思い」をベースとした支援を大切にしています。今後は、さらに幅広く多くの方の頼りになる存在として地域に根づくステーションを目指していきます。

サービス提供時間

月曜日～金曜日 祝日も訪問可能 **8：30～17：00**

休業日：土曜日・日曜日（12/31～1/3）

〒737-0143 呉市広白石4丁目 7-22 ふたば病院併設 **TEL 0823-55-0108**

認知症デイケア「ふたばの森」

（重度認知症患者デイケア）

受け入れ人数拡大!!

ふたばの森は認知症の方の治療およびリハビリを目的とした、医療のデイケアです。

医師・看護師、作業療法士、介護福祉士が中心となり、利用者様ひとりひとりに合わせた治療プログラムを作成し、認知症の精神症状や行動異常（BPSD）の改善・予防を目指します。

ご家族の心身の負担を軽減し、利用者様の在宅生活が行えるよう、お手伝いします。



ご利用できる方

在宅で生活をされており、認知症の診断を受けている方が対象です。医療保険のため、年齢制限はありません。認知症に不安がある方や、認知症を疑う症状があるも診断を受けていない方も気軽にご相談ください。専門医の受診へつなげるサポートをさせていただきます。



費用について

医療保険の適応です。公費による助成（自立支援医療制度）が受けられます。介護保険サービスと違い、利用回数の制限はありません。

※介護サービスとの併用が可能です。

在宅生活の最後の砦として



重度認知症患者
デイケアふたばの森
管理者 實森 庄司

認知症では少しずつ行動異常が出現し、いつの間にかご家族の介護疲れがピークに達し、在宅生活が困難になり施設入所や入院となるケースが多くあります。そのような方を早期に受け入れ、専門医の治療、作業療法士の個別プログラム、看護師のBPSDへの対応、点滴などの医療処置を行い、長く在宅生活ができるようにサポートを行っています。在宅生活を希望されている認知症の方の最後の砦として、ありたいと考えております。

施設のご案内

定員 50人 / ご利用日：月曜日～金曜日 / 営業時間 9：30～15：30

※土日祝日は休み / 年末年始は休ませていただくことがあります。

※送迎あり（片道30分程度）広、阿賀、仁方、川尻、安浦中央、呉（ご相談下さい）

〒737-0143 呉市広白石4丁目 7-22 ふたば病院併設 **TEL 0823-70-0555** 「ふたばの森」へとお伝え下さい